

計画検討委員会 検討資料

(県民意見への対応)
【将来の姿の具体的なイメージについて】

平成28年4月27日
沖縄県

1 県民意見の概要

1 県民生活

1-1 くらし、生活の向上

本土並みの交通サービスが提供され移動がしやすく便利で快適な生活、行動範囲・生活圏が広がり個々にあったライフスタイルを楽しめる暮らし、豊かな自然の中でゆったりとした暮らし、県民誰もが精神面や金銭面で豊かで安全な暮らし等が求められています。

1-2 移動範囲の拡大等

高齢者や車を持っていない人等交通弱者を含め誰もが行きたいところに、またなかなか行くことのできなかつた北部や南部など遠い場所にでも気軽に行けるようになるとともに、居住地を問わず学校や職業（職場）を選択できるようになることが求められています。

1-3 車依存型社会からの脱却等

車依存型社会から脱却することにより、車を利用せずに移動ができる、歩く機会が増加し健康的な生活が求められている一方で、現実的には車依存型社会が続くとする意見も寄せられています。

2 沖縄振興

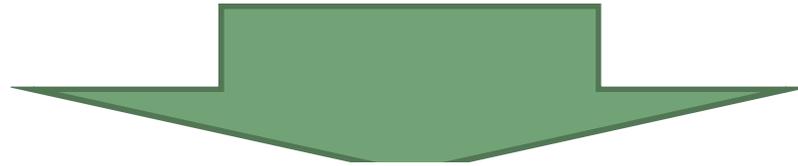
雇用の促進や産業の振興等県経済の活性化、通勤圏等拡大による人口の分散化による地域の活性化、都市部と北部との人的交流の増加等が求められている一方で、ストロー現象による都市部への一極集中を懸念する意見も寄せられました。

3 自動車利用の減少に伴う渋滞緩和・低炭素社会の実現

交通渋滞が緩和されスムーズに移動できるようになり、排気ガスが削減されたクリーンな沖縄が求められています。

4 その他視点

- ・車を運転せずにすむので飲酒運転や交通事故が減少する、気軽に飲みに行けるとする意見
- ・米軍等基地が無くなり、基地騒音、米兵犯罪等の無い沖縄であってほしいとする意見
- ・全体的に「沖縄の将来の姿」の内容は共感できることばかりであるが、少し足りない点として、高齢者や体が不自由な人、子ども、若者などの視点も取り入れた方がいい



2 県民意見への対応

- ・「4 その他視点」として県民から寄せられた意見を踏まえ、「安全・安心な暮らし」や「高齢者や体が不自由な人、子ども」から見た暮らしのイメージを追加する。（次頁のとおり）

【将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境や暮らしのイメージ(県民意見反映後)】

沖縄21世紀ビジョン基本計画で示されている36の基本施策の中から、「おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)」で示した「沖縄本島の将来の姿」に関連する主な分野及び県民意見を踏まえ、将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境や暮らしに関するイメージを再整理した。

私たちの社会環境(イメージ)

私たちの暮らし(イメージ)

沖縄21世紀ビジョンで示されている将来像

将来像Ⅰ
沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島

将来像Ⅱ
心豊かで、安全・安心に暮らせる島

将来像Ⅲ
希望と活力にあふれる豊かな島

将来像Ⅳ
世界に開かれた交流と共生の島

将来像Ⅴ
多様な能力を発揮し、未来を拓く島

沖縄21世紀ビジョン基本計画で示されている施策(抜粋)

【自然環境の保全・再生・適正利用】

沖縄の豊かな自然環境を劣化させることなく次世代に引き継ぐため、陸域・水辺環境の保全、自然環境の適正利用に努める。

【低炭素島しょ社会の実現】

低炭素都市への転換を推進し、温室効果ガスの排出が少ない地域経済社会を形成する。

【価値創造のまちづくり】

沖縄らしい景観・風景を次世代に守り継ぎ、時間とともにその価値が高まる地域づくりを推進する。

【人間優先のまちづくり】

誰もが安全かつ安心して快適に暮らせる質の高い生活環境を実現するため、歩いて暮らせる環境づくりや、人に優しい交通手段の確保に取り組む。また、自家用車利用から公共交通利用への転換を図るほか、高齢者や障害者など交通弱者に配慮した移動手段の確保に取り組む。

【健康・長寿おきなわの推進】

県民一人ひとりが健康意識を高め、健康で生き生きとした生活習慣の定着を促進する。

【健康福祉セーフティネットの充実】

県民だれもが住み慣れた地域で、健やかに生き生きと安心して暮らせるため、介護・福祉サービスの向上、施設整備の促進、社会参加の促進、医療体制の整備、保健衛生対策等に取り組む。

【社会リスクセーフティネットの確率】

県民が安全・安心に暮らせる地域づくりを推進するとともに、犯罪の起きにくい沖縄県の実現を図るため、治安の確保や生活の安寧に必要な対策を講じる。

【自立型経済の構築に向けた基盤の整備】

我が国及びアジア・太平洋地域とともに発展していくため、強くしなやかな自立型経済の構築に必要な不可欠な条件整備を図り、国際的な競争力を強化する。

【世界水準の観光リゾート地の形成】

安全・安心・快適な観光地としての基本的な旅行環境の整備等により、世界に誇れる“沖縄観光ブランド”を確立し、世界的にも広く認知され、評価される観光リゾート地の形成を目指す。

【情報通信関連産業の高度化・多様化】

国内外からの企業立地促進、県内立地企業の高度化・多様化、人材の育成・確保、情報通信基盤の整備等に取り組む。

【科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成】

産学官連携の研究開発成果等を活用して新事業・新産業を創出する国際的な「知的・産業クラスター」の形成を目指す。

【沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出】

沖縄のソフトパワーを積極的に活用し、競争力のある新産業を創出するとともに、環境関連産業の集積、金融関連産業の高度化等に取り組む。

【亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興】

環境と調和し、かつ経営が維持できる持続的な農林水産業の振興を図るとともに、国際物流ハブ機能を活用し、アジア市場への輸出を推進する。

【駐留軍用地跡地の有効利用の推進】

周辺市街地と連携しつつ、良好な生活環境の確保や新たな産業の振興、交通体系の整備、緑化の推進など魅力ある都市空間の形成を図る。

【世界との交流ネットワークの形成】

国際的な交通ネットワークの拡充等、国際交流拠点としてふさわしい基盤を整備し、多様な交流を積極的に展開する。

【公平な教育機会の享受に向けた環境整備】

地理的、経済的要因等に左右されない教育環境を整備するため、教育に係る負担の軽減や県民のライフステージに応じた学習環境の整備を推進する。

自然
沖縄の豊かな自然環境を保全しながら、適正な利用がはかられている

生活
地域の拠点を中心としたコンパクトな都市構造が形成され、歩いて暮らせる環境や渋滞緩和が実現している

住み慣れた地域で県民誰もが、保健、医療、福祉の適切なサービスが受けられる

安全・安心な暮らしが確保されている

産業
情報通信産業が高度化し、知的・産業クラスターが形成され、環境など沖縄のソフトパワーを活かした新たな産業が創出されている

国際物流ハブ機能を活用し農林水産物県産品などの輸出が拡大している

観光・交流
県内の各圏域間の交流・移動が拡大している

文化・研究等とおし多様な国際交流が行われている

観光客の多様なニーズに応える観光拠点が多数あり、旅行環境が整備されている

教育
公平な教育機会が享受され、多様な人材が育成されている

やんばるの森やサンゴ礁など豊かな自然が広がっている

職場と住みの移動が楽になり、家族や地域コミュニティの充実した時間がある

お年寄りや体の不自由な方も買い物や通院ができるようになり外出機会が増える

車を運転せずにすむので飲酒運転や交通事故が減少する、気軽に飲みに行ける

年齢や障害の有無などにかかわらず、県民誰もが住み慣れた地域で、健やかに生き生きとして安心して暮らせる

未来を担う子どもたちが健やかに生まれ育ち、豊かな可能性が発揮できる

まちなかをゆったり歩いて、ショッピングを楽しむ人で賑わっている

沖縄のソフトパワーを活かした産業で多くの方が活躍

海外で県産品マーケットが拡大し沖縄ブランドとして愛されている

本島内での通勤圏が拡大し、職業の選択幅が広がる

国際会議が開かれ、海外から多くの研究者が訪れ交流がさかん

新たな観光スポットをめぐる観光客の増加

ビジネスで沖縄へ来た人も観光リゾートへアクセスしやすい

誰もが学びたい時に学べる環境が整っている